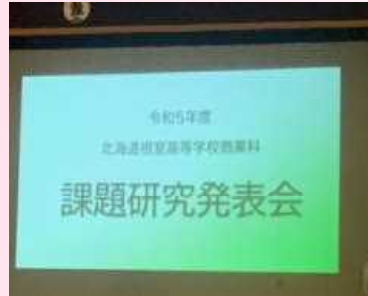




【商業科(商業科・事務情報科)・3年次】 課題研究発表会の開催

1月26日(金)商業科課題研究発表会が開催されました。今年度、商業科・事務情報科が1年間の授業で取り組んだ成果を発表しました。4つのテーマ ①ビジネスリサーチ、②商品プロデュース、③地域貢献、④資格取得です。発表の一部を紹介します。



【ビジネスリサーチ】…担当 佐藤直・山本紗教諭

①「消費税について」

消費税が設定された経緯、そのメリットとデメリットを紹介。法律により税金が定められており、選挙権の行使が大切であり、その法律も変えられる。

②「これからの肉牛と根室について」

根室の1次産業の状況について調べた結果、漁獲高が落ちている水産業でなく、離農や未利用の土地した肉牛生産に未来がある。根室のミネラル分を含む牧草からブランド肉牛を売り出すことができるのではないかと。7億円規模で施設設備を作れることから、数十年で費用はペイ(回収)できる。

③「Vtuberと経済効果について」

人気Vtuberとその経済効果を調べた。茨城県を売り込むVtuberは7年連続最下位だった県の魅力度を42位に押し上げ、5億円の経済効果を上げた。また、釧路市を拠点とするVtuberなどもおり、オリジナル色を打ち出し企業色をなくすことでイメージアップが図られており、高い付加価値が付いている。



【商品プロデュース】…担当 後藤・井川教諭

商品開発を企業(地元お菓子屋)と連携した取り組みや販売実習などについての報告。カニをふんだんに使ったカニカツバーガー紹介、今回販売したお菓子サイロールは試行錯誤の中、ごまをサイロの目地などに見立て商品化された。釧路空港での販売では1時間で完売となり、多くのお客さんから高い評価を受けた。その他、商業産業フェアなどでも出品することで根室を知ってもらう機会となり、根室の地域活性化の一躍を担った。



【地域貢献】…担当 越川・大川・林将教諭

3つのグループの発表。1つ目のグループは、ひまわりの種プロジェクトで交通事故で亡くなった児童の育てていたひまわり種からひまわりを育て警察と連携し交通安全を訴える。

二つ目のグループは、地域のゴミ拾いから分かったポイ捨ての多くはタバコ、缶、ペットボトルであり、ポイ捨てをなくすことの必要を訴える。また、鳴海公園にある根室空襲についての講話から戦争の悲惨さを考えた。



三つめのグループは、幼稚園での読み聞かせや介護施設訪問などにより、多くの方々から感謝され、自分たちの活動が地域の人たちの心を動かしたり、役立っていることに気づき、地域との繋がりを感ずることができた。



【資格取得】…担当 小野寺教諭

最強の勉強法の紹介。インプットだけではダメでアウトプットの必要性、頑張りとその体験の大切さ、他の人に頼ること、挑戦を続けることの必要性などについて、資格取得のための勉強から多くのことを学んだ。



【発表会での校長からの講評】 この課題研究発表を参観して、3年生の皆さんが活動から多くの学びを得たことが分かりうれしく思いました。①身近にある興味・関心事から自ら調査するなど活動していること。②活動から新たな課題が生まれ試行錯誤しながら解決に導いていること。③一人ではできない活動を仲間と協力しながら取り組んでいること。④活動から他者への感謝の気持ちを持てたこと。改めて、地域の方々、仲間、指導してくれた先生、活動に関係した人たちに感謝してほしい。皆さんは地域の活躍人材、今後の活躍に期待している。

【理科・1年次】授業改善（通称:ジュギョチン） / 生物基礎

1月19日（金）、標記の公開授業が行われました。理科・生物基礎で生物環境の保全の単元です。自然界のシカの食害の動画をもとに、オオカミの減少やハンターの減少からシカの生体数の増加を招き、自然界の食物連鎖が崩れていることを学びます。その後、宮城沖地震での地殻変動による新たな生物種の発生に関わる新聞記事を各自で読み考えます。この新聞記事は、淡水魚と海水魚の雑種が個々の水域で現れる事例、海底深部が現れることで新たな種の水草が発生する事例が科学的な視点で記述されています。この記事をもとに、多様な生物が発生するメリットやデメリットを各自で考えます。事前に用意されていたワークシートをもとに、各問いについて生徒達が黒板に解答をします。他の仲間たちに分かりやすく自分の考えを簡素に伝える文章は意外に難しいものです。生徒達がしっかりと前頭葉を働かせ考えている様子がありました。この授業から授業参観者が感じたことは、生徒と担任、教科担任や学年団が普段から生徒と良好な関係が築けており、今後の学力向上や学ぶ意欲に繋がる活動でした。

